

# デンマークの リスキリングから 何を学ぶか



～イノベーションとコーポラティズム～

“Lessons from Denmark’s Reskilling: Innovation and Corporatism”

日時

2024年11月10日 [日]

15:00～17:30 開場 14:30

会場

明治大学 駿河台キャンパス

アカデミーコモン

8階/308F教室

形式・参加方法

対面・オンラインハイブリッド  
日英同時通訳あり（対面のみ）

※オンラインは字幕のみ

参加費無料  
（事前申し込み制）

対面参加は  
先着順  
（120名）

以下のURLか  
QRコードから  
お申し込みください。



<https://bit.ly/3Zwn7Yi>

出演者



Stina Elias

（スティナ・ヴァング・イリアス）  
（Tænketanken DEA代表）

1966年生まれ。国立ロスキレ大学卒、  
デンマーク教育評価機構、デンマーク経営者連盟など  
を経て、デンマーク教育産業協会部長。2015  
年より中央職業訓練委員会委員長。



Thomas Felland

（トマス・フェラン）  
（FH: Fagbevægelsens Hovedorganisation  
（旧LO労働組合全国組織））

1972年生まれ。デンマーク教育省職員などを経て、  
2017年より労働組合総連合・職業訓練コンサルタン  
ト。ヨーロッパ職業訓練開発センター（CEDEFOP）  
理事（デンマーク労働組合選出）。



Arnt Vestergaard Louw

（アント・ヴェスタゴー・ロウ）  
（Aalborg大学准教授）

1971年生まれ。Ph.D.（オーフス大学）。オルボー大  
学文化教育研究所を経て2016年より現職。青少年教  
育、職業教育、高等教育、社会人教育が専門。若者  
の職業教育訓練に関する著作多数。



倉地真太郎

（コーディネーター）

明治大学政治経済学部准教授。財政学。北欧・デン  
マーク財政が専門。科研費プロジェクト「イノベ  
ティブ福祉国家としてのデンマークー福祉国家の持  
続可能性の制度的基盤の研究」研究分担者。

# デンマークの今を知る

日本でリスクリングを普及するには何が必要なのか。デンマークは、フレキシブルとセキュリティの造語である「フレキシキュリティ」政策が注目を集めるリスクリング先進国の一つである。これまでデンマークは政労使の協調のもと、大規模な職業訓練政策を実施し、生涯にわたって学ぶ制度を構築してきた。そこで今回のシンポジウムでは、デンマークの職業訓練政策を専門とする研究者、職業訓練政策担当者のトップ、全国労働組合の担当者を招いて、デンマークのリスクリングの今、職業訓練政策を支える政府のイノベーション政策や政労使の協調モデルのあり方を議論する。シンポジウムでの議論を通じて、日本のリスクリングや職業訓練政策への示唆を得たい。

## プログラム

- 15:00-15:10 開催の挨拶・シンポジウムの主旨説明
- 15:10-16:15 登壇者によるプレゼン  
(各25分程度)
- 16:15-16:25 休憩
- 16:25-17:25 ディスカッション  
コーディネーター・講演者のコメント、フロアとの討論
- 17:25-17:30 閉会の挨拶



### 会場(アカデミーコモン8階)のアクセス

JR中央線・総武線/御茶ノ水駅:徒歩約3分  
 東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅:徒歩約3分  
 東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅(B1出口):徒歩約5分

都営地下鉄三田線・新宿線、  
 東京メトロ半蔵門線/神保町駅:徒歩約5分

[https://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/access.html](https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html)

### ● 問い合わせ

ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。  
 Mail: [mail@shintarokurachi.org](mailto:mail@shintarokurachi.org) (明治大学政治経済学部倉地真太郎研究室)  
 HP: <https://shintarokurachi.org/>